

東北海区沿岸水温予報(2012年)

海域	経過 (9~11月)	現況(11月下旬~ 12月上旬)	見通し (12~2月)	見通しの背景	特異現象 (漁獲)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	◎沿岸水温 9月から10月第1半旬まで極めて高く、10月第2半旬から11月第4半旬まで高い(11月第1半旬除く)で推移した。 ◎太平洋定線観測 9月(8月29日~2日)の観測結果は、津軽暖流の各層水温は、0m層は「極めて高め」、50m層は「平年並み」、100m層は「やや高め」、水塊深度は「やや深め」、津軽暖流の東方への張り出しは「平年並み」。	◎沿岸水温 11月第5半旬~12月第2半旬までは平年並み~やや低めで推移している。 ◎太平洋定線観測 12月(11月22日~25日)の観測結果は、津軽暖流の各層水温は0m層、50m層、100m層で「極めて高め」、水塊深度は「平年並み」、津軽暖流の東方への張り出しはやや東偏。	津軽暖流域の水温は平年並みで推移する。津軽暖流の東方への張り出しは平年並みとなる。	12月の日本海定線観測では、対馬暖流の勢力は平年並みで推移している。また、太平洋側の沿岸定地水温は、11月末には平年並みとなった。よって、今後も津軽暖流の勢力は平年並みで推移するものと考えられる。	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	【9月】 表面水温は、距岸10海里内は全域「高い」。距岸10海里以東は全域「やや高い」~「高い」。 100m深水温は、距岸10海里内は県中部が「やや高い」のほかに「平年並」。距岸10海里以東は、黒崎沖合40~50海里が「平年並」~「低い」のほかにほぼ全域「やや高い」~「高い」。 【10月】 表面水温は、距岸10海里内は尾崎沖10海里内が「高い」のほかに「やや高い」。距岸10海里以東は、トドヶ崎沖合30~50海里から尾崎沖合30~50海里にかけて「平年並」のほかにほぼ「やや高い」。 100m深水温は、黒崎沖合10海里内が「やや低い」か「低い」、トドヶ崎から椿島の沖合20海里以内が「やや高い」のほかにほぼ「平年並」。 【11月】 表面水温は、距岸10海里内は全域「やや高い」か「平年並」。距岸10海里以東は、黒崎沖合10~20海里からトドヶ崎沖合10~20海里が「平年並」のほかに全域「やや高い」か「高い」。 100m深水温は、距岸10海里内は全域「やや高い」か「平年並」。距岸10海里以東は、黒崎からトドヶ崎沖合全域が「平年並」か「やや低い」、尾崎定線以南は「やや高い」か「高い」。	表面水温は、距岸10海里内は全域「やや高い」。距岸10海里以東は全域「平年並」か「やや高い」。 100m深水温は、距岸10海里内は全域「やや高い」か「高い」。距岸10海里以東は、ほぼ全域「やや高い」か「高い」。	県北部および県南部沿岸域が「平年並」のほかに「やや高い」。	統計的予測モデルによる。	特になし
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	〈9月上旬〉 『宮城県沿岸から沖合の表面水温は高めであった。』 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合の表面水温は前月よりも1~6℃昇温し、23~27℃となった。平年と比較すると仙台湾は2~3℃高め、仙台湾外も平年より高めとなり、特に38°30'Nラインが4℃高めとなった。 【100m深水温】 100m深水温については、7~13℃台であった。平年と比較すると、38°30'Nラインは142°E以西で平年よりも0~2℃低め、142°E以东では平年並みであった。38°Nラインでは0~4℃高めであった。 〈10月上旬〉 『宮城県沿岸から沖合の表面水温は前月よりも大幅に降温し、20~23℃となった。』 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合の表面水温は前月よりも2~6℃降温し、20~23℃であった。平年と比較すると仙台湾は1℃高め、仙台湾外では、38°Nラインの142°30'E~142°50'E付近で平年より高めであったが、概ね平年並みであった。 【100m深水温】 100m深水温については、10~15℃台であった。平年と比較すると、38°30'Nラインは142°10'E以西で0~1℃低め、142°E以东では0~1℃高めであった。38°Nラインでは0~2℃高めであった。 〈10月下旬~11月上旬〉 『宮城県沿岸から沖合の表面水温は、平年より1~2℃高く、18~19℃となった。』 【表面水温】 宮城県沿岸から沖合の表面水温は前月よりも1~5℃降温し、全域で18~19℃台であった。平年と比較すると、仙台湾は1℃高め、仙台湾外では38°30'Nラインの観測点全域で2℃高めとなった。	12月の定線観測の中止に伴い情報なし。	12月の定線観測の中止に伴い、予報困難。	特になし	

	<p>【100m 深水温】</p> <p>100m 深水温については、12～17℃台であった。平年と比較すると、142° E 以西では平年並み、142° E 以東では暖水の波及により沖合ほど高く、38° 30' N ラインの142° 30' E 付近では平年よりも6℃高めとなった。</p>				
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	<p>定線全体でみると、9月の表層は「高め」、100m 深は「やや高め」10～11月とも表層は「平年並み」、100m 深は「やや高め」であった。</p> <p>定線ごとにもみると、表層のうち、塩屋埼定線(県南海域)、富岡(県中)は「平年並み」～「高め」、鶴ノ尾埼(県北)は「平年並み」～「やや高め」で推移した。</p> <p>100m 深では、塩屋埼が「やや高め」～「高め」、富岡が「平年並み」～「極めて高め」、鶴ノ尾埼は9月のみの観測となったが「やや高め」であった。富岡は10月に平年差+5.0℃となっていた。</p>	12月中旬に鶴ノ尾埼の観測を実施したが、100m 深は「平年並み」であった。(塩屋埼、富岡は未実施)	「平年並み～やや高め」で推移する。	11月に海洋観測で得た水温を用いて自己回帰分析を実施した結果、本県沖は12～2月とも「平年並み～やや高め」となった。気象庁の1カ月予報では、親潮の面積は「平年並みか平年より大きい状態が続く」と予想され、房総半島における黒潮は「おおむね接岸して流れる見込み」となっており、黒潮系暖水、親潮系冷水の波及が沿岸域に及んだ場合、水温が大きく変動することが予想される。	特になし
常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	<p>9月上旬は、黒潮本流から暖水波及が続いたため、沖合では「やや高め～きわめて高め」となった。沿岸下層および極沿岸では、暖水波及の影響が弱く「低め～平年並み」であった。</p> <p>10月上旬は、台風17号および19号が東北海区沖合を通った影響により、表層水の鉛直混合が顕著に起こり、表層では前月より降温し、下層では前月より昇温した。このため、表層は「平年並」、下層では「平年並～きわめて高め」、極沿岸では「平年並～やや高め」となった。</p> <p>11月上旬は、全域で前月より降温したが、平年と比べると沿岸および沖合の表層・下層では「平年並～高め」、極沿岸では「平年並～やや高め」であった。</p>	12月上旬は、前月よりも表層～50m 深で降温したが、平年と比べると沿岸・沖合の表層および極沿岸では「平年並」、沿岸・沖合の下層では「平年並～やや高め」であった。	「平年並～やや高め」で推移する。但し、親潮系冷水と黒潮系暖水の急激な波及時には大きく変化する。	<p>①100m 深水温を用いた自己回帰モデルによる解析では、2013年1・2月とも「平年並～やや高め」となる予測結果であった。</p> <p>②親潮の面積は平年並～大きめで推移するとみられ、親潮第一分枝の先端は現在の北緯41度30分・東経145度から北緯40度・東経143度30分付近まで張り出すとみられている。また、現在北緯39度30分・東経146度付近に親潮系冷水が存在している。これらのことから、冷水の勢力は比較的強いと考えられるが、親潮第一分枝・親潮系冷水とも東経145度以東の沖合に存在しており、短期間で本県海域沿岸にまで影響を与える可能性は低いとみられる。</p> <p>③黒潮の蛇行が房総半島沖を東進すると、大吠埼沖で大きな流路変動がみられ、それに伴って大規模に常磐南部～鹿島灘海域に暖水が波及する可能性がある。FRA-R0MSによる予測によれば、1月までC型が継続し、その後N型になることが予想されている。この黒潮流型が移行した際に大吠埼沖で蛇行の東進が起こり、常磐南部～鹿島灘海域に暖水が波及する可能性がある。</p>	<p>①北部まき網が行う八戸沖でのサバ・秋漁において、今期の主体となる大型マサバの漁場が形成されなかった。</p> <p>②7月および9月の海洋観測において、各定点で高水温が観測された。1975年以降で月別・定点別における最高水温を記録した代表層は、7月観測で計42層(0m:5定点、10m:4定点、20m:5定点、30m:9定点、50m:8定点、75m:7定点、100m:3定点、150m:1定点)、9月観測で計16層(0m:13定点、10m:3定点)であった。7月は黒潮本流の流路が本県沖合において北偏傾向で推移したこと、9月は高気温(日射)が影響したものと推察される。</p>

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4℃～	+4.0℃～	+6.0℃～	+2.4℃～	+4.0℃～	+4.0℃～
高い(7.5%)	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	4.0～+5.9℃	+1.6～+2.3℃	+2.5～+3.9℃	+2.5～+3.9℃
やや高い(20%)	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	1.5～+3.9℃	+0.7～+1.5℃	+1.0～+2.4℃	+1.0～+2.4℃
平年並(40%)	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	1.4～-1.4℃	+0.6～-0.6℃	+0.9～-0.9℃	+0.9～-0.9℃
やや低い(20%)	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	1.5～-3.9℃	-0.7～-1.5℃	-1.0～-2.4℃	-1.0～-2.4℃
低い(7.5%)	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	4.0～-5.9℃	-1.6～-2.3℃	-2.5～-3.9℃	-2.5～-3.9℃
極めて低い(2.5%)	-2.4℃～	-4.0℃～	-6.0℃～	-2.4℃～	-4.0℃～	-4.0℃～